

教育目標 ひとりだちする生徒



< 期待する生徒像 >

- 健康：健康で心の豊かな生徒  
 努力：最後まであきらめないうでがんばる生徒  
 創造：自分で考え実行する生徒  
 連帯：集団に進んで参加する生徒



一人一人が個性を輝かせ、社会で自立し、人生を豊かに生きることができる生徒の育成

課題

◆多様な困難を抱えている生徒一人一人に対して、適切に対応していくこと

知的障害



いじめ  不登校 	ゲーム障害  ゲーム依存 	コミュニケーションが苦手  相手の気持ちが分からない 	パニック  ひきこもり 	現実逃避  トラウマ 
--	--	--	---	--

学校経営の重点



個別最適な学びの実現と教育課程の深化推進



「攻めの進路指導」による個別支援の継続



「逆算の生徒指導」による個別支援の継続

- ・生徒の個性やニーズに合わせた個別最適な学びの推進
- ・指導の個別化・学習の個性化の実現
- ・学習指導要領に基づく教科学習とICT教育の推進など
- ・生徒にとってのベストな教育課程



- ・生徒の夢や希望を最大限尊重
- ・短時間勤務など働き方の多様化を踏まえた選択のさらなる拡大（発達障害・不登校傾向）
- ・重度重複生徒の「働き方」の捉えの継続検討→「日中活動」「社会生活」



- ・卒業後、自立した生活を送れる意欲とスキルを育む指導支援
- ・失敗を恐れず、挑戦できる環境の整備と失敗から学ぶ機会の提供
- ・不登校、心理的不穩、トラウマ障害、希死念慮等、ハイリスク児へ即対応
- ・強度行動障害の理解と対応
- ・SSRの設置と在り方の整理検討



チャレンジを後押しする安心安全な教育環境の提供

生徒に寄り添い、共に喜び、共に悲しみ、本気で向き合うことで生徒・保護者と信頼関係を築ける教職員集団の形成

- ・研修やOJTを通じた専門性の向上
- ・チームワークを強化した、協働的な校風の醸成
- ・関係機関・関係者等との信頼に基づく連携・協働
- ・働き方改革の推進と心身ともに活力ある教職員集団の育成



インクルーシブ教育の実現に向けた地域支援 ～我々の使命～

- 幼稚園や小学校、中学校、高等学校等の支援機関となること —指導/支援/助言—
- 特別支援教育に関する情報の発信基地になること —欲しい情報は何でも手に入る—
- 地域の相談機関としての存在感を高めること —そこに行けば何とかなる—